



朝日新聞東京本社  
発行所 〒104-8031 東京都中央区築地5-3-2  
電話 03-3545-0131 www.asahi.com



# ひと人ヒト

低コストの脳磁計開発・武田常広さん

## 病気の研究 下支えしたい



からだを傷つけずに、脳の動きを鮮明にとらえる「脳磁計」。微弱な脳の磁場を計測する装置は、脳の研

究や認知症などの診断に役立つとされる。柏市にある東大大学院の武田常広教授(63)は生体計測は脳磁計に欠かせない液体ヘリウム(63)の補充がほとんどいらぬ「循環型」装置を手がけた。「使う人に低コストでやさしく、環境にもやさしいものに」。装置の改良に取

り組んで約10年になった。病院や研究機関からの引き合いが相次ぐ。

輸入に頼る液体ヘリウムは高価なうえ、年々値が上がりつつある。主産国の米国ではあと20年余りで資源が枯渇するともいわれるだけに、ヘリウムの年間使用量が今の約100分の1で済むとして注目されている。もともと目と脳の間を研究していた。遠近感のある平面面を見る時、「人間の

目は脳で解釈して立体的に見えることを明らかにした。やがて研究で使っていた脳磁計にヘリウムが大量に必要なことを実感。コストを減らせないかと必要に迫られたのが、ヘリウム循環装置を開発したきっかけだ。「アルツハイマー病の早期発見や精神病の原因究明など、人間の脳がどう働いているかの研究は絶えない。その下支えをした」と話している。(宮崎健)